

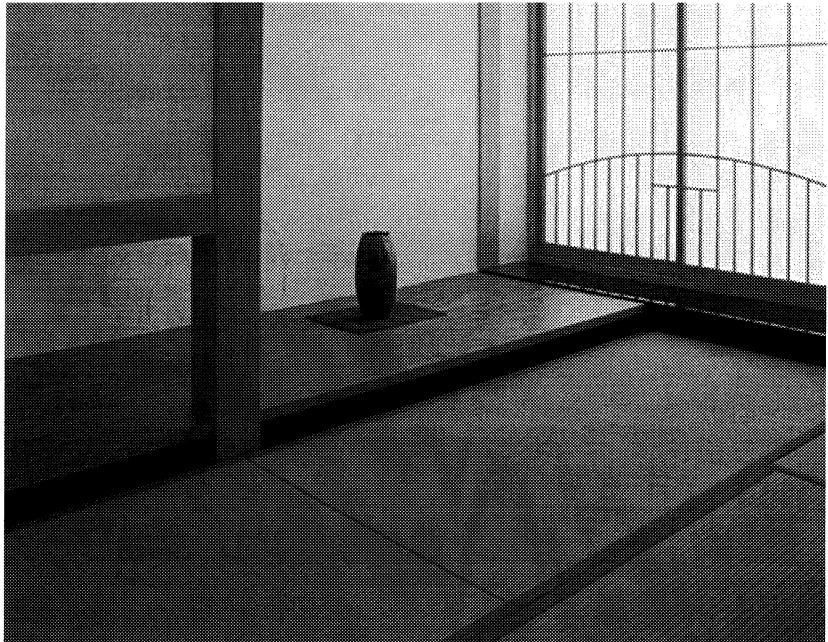
取扱説明書

ガス温水床暖房ヌック「はやわざ（畳仕上げ）」

このたびは、弊社商品をご購入いただき、誠に有り難うございます。
ご使用の前に、本書を良くお読みの上、良い状態で未永くお使い下さい。
また本書中の安全に関する重要な内容については、必ずお守り下さい。



誤った取扱をされた時に、死亡や重傷など重大な結果に結びつく可能性が大きいものには「△警告」のマークを、
状況によっては、重大な結果に結びつく可能性があるものには「△注意」のマークを記載しております。
必ずご使用時にいつでも読むことができる所に保管をお願いいたします。



畳のお手入れ方法とご注意事項

■畳床

畳床は、構造上ダニなどが内部で生息しにくくなっています。市販の針を差し込むタイプのダニ殺虫剤や畳の下に散布する殺虫剤等を使用しないでください。床暖房パネルを破損することがあります。

■畳表

い草は通常、変色や褪色を防ぐために特殊な土の中に漬け込む「泥染め」と呼ばれる加工をしています。ご使用前には、必ず乾いたタオル等で表面の白い土を拭き取ってください。

〈日常の掃除方法〉

- 拭き掃除………固く絞った雑巾・タオル等で畳の目に沿って拭いてください。その際、水拭きや洗剤、薬品等を含んだものでのご使用はおやめください。
- 電気掃除機………畳の目に沿って畳表を傷つけないよう、ていねいにおかけください。

●畳の上に水・コーヒー・醤油・インク・灯油等をこぼしたまま放置すると畳表のシミ・腐れの原因となります。また水・薬品、醤油等のこぼしたままにしておくと床暖房パネルが腐食することがあります。こぼした時は、その箇所に小麦粉・塩・クレンザー等の粉末をふりかけ、十分液体を吸い取らせてからかたく絞った布でよく拭いてください。

●畳表は、何度も張り替え可能ですが、その際の畳表材には、必ず指定業者のものをご使用ください。床暖房の熱による変色、浮き上がり等が指定のものよりも早く生じるおそれがあります。

●畳は直射日光に長時間さらされると日焼けによる変色が生じます。カーテンやブラインドで直射日光をできるだけ遮ってください。

●畳の目に沿った方向は滑りやすいので、走ったり、運動・清掃をする際にはご注意ください。

また、い草は最初の一年程は特に湿気を多く含んでいますので、カビが発生する可能性があります。窓を開けてよく換気するか、除湿機等で湿度を下げるなどしてカビの発生を防いでください。人造い草は、カビの生えにくい合成樹脂材によって作られています。

■畳縁（ヘリ）

畳縁は、アイロンなどの高温になるものを近づけると溶けたり、変化したりしますのでご注意ください。

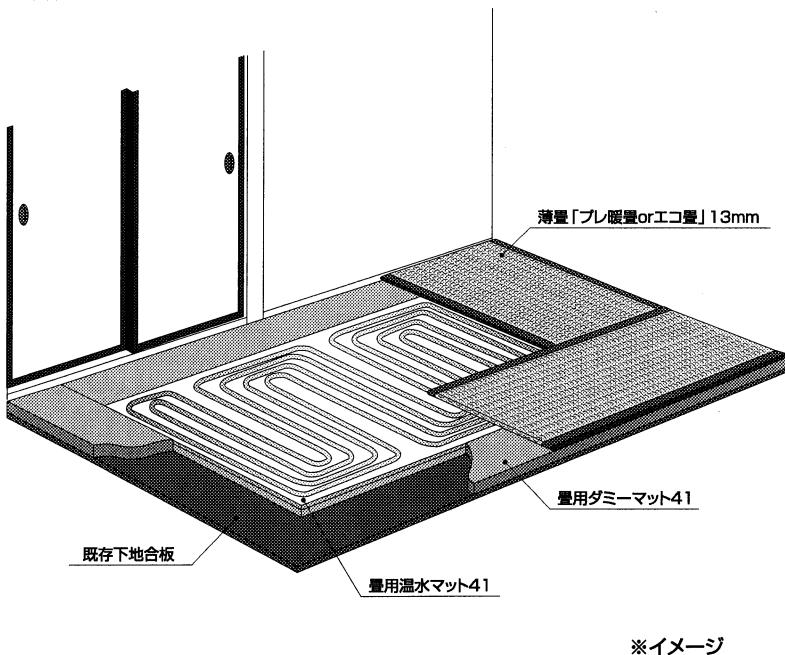
■こんな時には……

- カビ……消毒用アルコールをスプレーするか、水でうすめた漂白剤（有効塩素5%以下）でゴム手袋等をして布にしみこませてから拭き取ってください。
漂白剤が強いと畳の色が落ちる可能性があります。ご注意ください。
- ダニ……掃除の回数を増やし自然通気に心がけて下さい。電気掃除機（紙パック式）が効果的です。

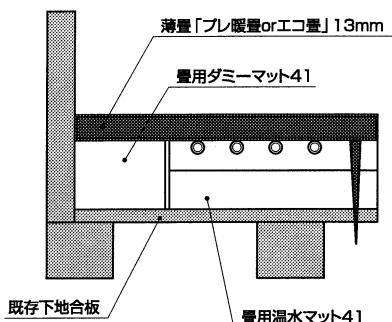
ガス温水床暖房ヌック「はやわざ(畳仕上げ)」

性能に関するご注意

■構造図



■断面図



■温水式床暖房は、床暖房専用畳の下にある床暖房マットの温水パイプに温水を流すことによって床表面を暖めます。そのため温水パイプが通っている部分とそれ以外の部分で、温度に差があります。また床暖房専用畳においても畳表と畳縁(へり)部でも温度差がありますが異常ではありません。

■床暖房専用畳は、一般的な建材畳と異なり、超薄型に製作しています。そのため、床暖房使用によるわずかな反りが発生する可能性があります。また、多少の収縮やスキ等も発生することがありますのでご了承ください。

■天然い草を材木に使用する場合、床暖房の継続使用によって、い草の乾燥が通常の畳よりも早くなる可能性があります。変色が目立つようになりましたら、畳の表替えをお奨めいたします。また使用条件によって、畳の多少の浮きやくぼみ等も発生することがあります。

■床面が適度に暖まるには、住宅事情(床構造、仕上げ材、床暖房の種類、敷設率等)、外気温度により多少時間差はありますが、約1~2時間程度かかります。あらかじめリモコンでタイマー運転を設定して使用して下さい。また、補助暖房が必要になる場合もあります。

■はやわざは築後10年の公庫融資対象住宅の断熱を参考にして性能を確認しています。住宅の断熱状態によって、立ち上がり時間、ライニングコスト・暖房性能が変化し、断熱状態が良いほど床暖房の本来の性能が発揮できます。断熱状態を良くするためには、別途断熱工事が必要です。

■条件(外気温が低い場合、断熱状態が悪い場合、床暖房の敷設面積が十分確保出来ていない場合など)によっては、他の暖房器具を併用しなければ、暖房感を得られない場合があります。

■暖房時の立ち上がり性能を向上させるため運転開始後30分~60分の間は、高温水を連続供給します。外気温や温気が高い場合には、床温や室温が上がりすぎる場合があります。

■畳仕上げとフローリング仕上げの床暖房をつないで同時使用した場合には、畳仕上げの能力が低下することがあります。

■フローリング仕上げの床暖房と比較すると、畳仕上げの床表面温度は若干低く、立ち上がり時間も長くかかります。

■床暖房を使用すると、まれに床面から音がする場合があります。これは床暖房の熱によって本体および仕上げ材、床の構造体が膨張・収縮し発生するものや温水の通水音によるもので、異常ではありません。

■床暖房部やその周辺部や温水配管接続部、温水配管部などで、床面の足触りが部分的に周辺部分と異なることがあります。異常ではありません。

■ヘリなし畳は、ヘリのある畳と比べて畳端部の摩耗が激しくなることがあります。

■カビの原因となりますので、室内に温気がこもらないようにご注意ください。

安全に関するご注意



この表示を無視して誤った取り扱いをされると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

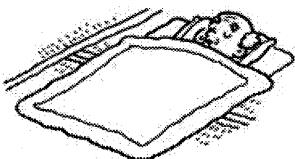


この表示を無視して誤った取り扱いをされると、使用者が負傷する可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。



絶対に行わないでください。

■床暖房使用中の床面に長時間座ったり、寝そべると比較的低い温度でも皮膚障害をおこす危険があります。特に病気の方、高齢者、乳幼児、皮膚の弱い方、深酒・睡眠薬を服用された方などは、ご家族の方が十分にご注意ください。



■リモコンの取り付け・分解・修理は、お買い上げの販売店または、専門業者に依頼して行って下さい。ご自分で取り付けや分解・修理され、不備があると故障・感電・火災の原因になります。



■リモコンを水洗いしたり、濡れた手で操作しないでください。操作部より水が侵入して故障・感電の原因になることがあります。火災の原因になります。



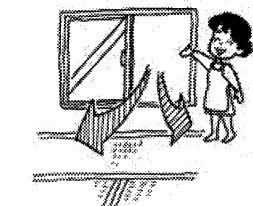
■床暖房の上にスプレー缶やライター等を置かないでください。爆発や火災のおそれがあります。



■畳を上げて、畳の裏などを掃除するときは、床暖房パネルに加工や傷などを付けないようご注意下さい。床暖房パネル内のパイプには通常、水が張ってあります。床暖房使用時には、パイプ内の高温水が流れますので特にご注意ください。



■閉め切ったお部屋では、ごくまれに体調が悪くなる場合があります。その場合には床暖房が原因の一つに考えられますので、窓を開放し、換気を行ってください。(床暖房以外の製品が原因の場合もありますので、施工店にご相談ください。)



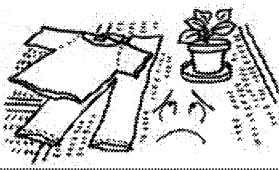
■畳にたばこや火種を落とした場合は、すぐにこげたところに水をかけ、その後乾いた布で水分を吸い取ってください。その時は消えているようでも後で再発火し火災になる危険があります。ご注意ください。



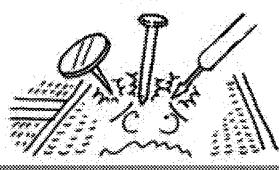
■このカタログに記載の機器は家庭用です。業務用でお使いになりますと著しく機器の寿命を早めます。
■施工業者以外の方は、設置工事・分解・修理・改造は行わないでください。
■地震、火災が発生したときは、速やかに運転を停止してください。
■万一、ご使用中に異常な運転音、臭気に気づかれたら、速やかに運転を停止して、最寄りの大阪ガスまたは大阪ガスサービスショップにご連絡ください。

使用上の注意

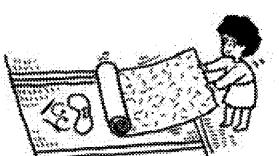
■特殊な用途(例えば衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存等)に使用しないでください。



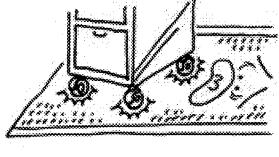
■床暖房部には絶対に突起物(クギ、画鋲、さり、ダニ防虫剤の注射針など)を刺したり、ドアストッパーを取り付けたり、刃物等を落としたりしないでください。水漏れ等の原因となります。



■床暖房のかかっている場所に、コタツやカーペット等を敷かないでください。床暖房の性能が発揮できない場合や、床暖房の熱がこもって、畳表材の変褪色や畳の変形を引き起こすことがあります。(ホットカーペットとの併用は絶対にしないでください。)又、上敷きとしてゴザやカーペットなどの敷物を敷くと同様なことになります。



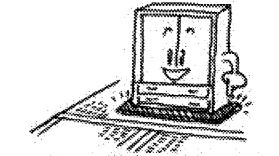
■キャスター付の椅子や家具のご使用は避けてください。畳表材の傷や畳のへこみの原因となります。



■エアコン等による暖房装置の連続使用により室内が過乾燥になり畳が多少収縮することがあります。ご了承ください。



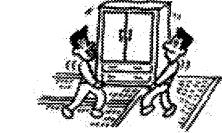
■床暖房の上に直接木製品(特に高価な物、精巧な調度品、家具、仏壇等)を置くと熱がこもり、木製品に変形やひずみが生じるおそれがあります。畳と木製品の間に空間を設けるようにし、熱がこもらないように配慮してください。



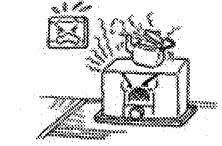
■ピアノなどの重量物の脚部には必ずバット(緩衝材)や敷板などを敷いて一ヶ所に荷重がかからないようにして下さい。畳が破損し、水漏れの恐れがあります。(一部のゴム製のバットの中には、色が床面に付着するものがありますのでご注意ください。)



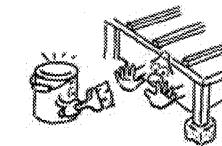
■重たい家具を動かす場合には、引きずらずに必ず持ち上げて移動してください。物を引きずりますと、畳の表面にスリキズが付きます。



■コントローラーの近くで他の暖房器具を使用しますと、熱により故障したりコントローラーに内蔵された室温センサーが誤作動することがあります。また、直射日光が当たる場所にコントローラーがある場合も同様の可能性がありますので、カーテン等で日光をさえぎってください。



■床下木材の防腐処理をされる場合、床暖房および配管類に処理剤が付着すると処理剤の溶剤によって床暖房の性能が維持できなくなることがありますので、絶対に付着させないようにしてください。



■床への強い衝撃は与えないでください。水漏れの恐れがあります。



■犬、猫などのペットを飼育されるご家庭では、細かい毛や食べ残し、排泄物など、衛生面にご注意ください。ダニ等の発生原因になりますのでごまめな掃除をおすすめします。



■畳を施工後、畳のこすれ等による音がまれに発生する可能性があります。床暖房パネルおよび床暖房用畳以外からの原因も考えられますので、施工業者にご相談ください。

